
院内感染対策ニュース

第75号 2019年11月20日 院内感染対策委員会

正しく使用できていますか?マスク

個人防護具は様々なものがありますが、マスクは微生物や有害物質の曝露から守り、微生物や有害物質の拡散を防ぎます。もう少しわかりやすく言うと、私たちを細菌やウイルスなどの曝露から守り、私たちが持っているかもしれないウイルスや細菌を人にうつしたり拡げないために必要な道具です。マスクはインフルエンザなどの飛沫感染対策に有効な個人防護具ですが、正しく着用できていないと感染したりさせてしまう危険があります。今回はマスクのつけ方について取り上げます。

★マスクの正しいつけ方★ ★マスクの正しい外し方★

マスクはたくさん市販されています。いろいろな形はありますがつけ方は基本同じです。でも下のイラストのように正しくつけないと効果がありません。人にうつしてしまったり、もらってしまったり・・・当院でもマスクをして仕事をしている職員はたくさんいますが正しくつけられていない職員が散見されます。このニュースを見て今一度正しくつけられているか、自問自答してみてください。



①マスクの上下・裏表 を確認後、ノーズ ワイヤー(留具) を鼻の形に曲げる。 ②プリーツ(マス クの折りひだ 部分)を広 げる。 ③イヤーループ (ひもの部 分)を持って 耳にかける。 ④再度、ノーズワイヤーを鼻の 形に合わせ、鼻全体を覆う ようにする。 ⑤再度、マスクのプリー ツを広げ、あごの下 までカバーする。 口 と鼻をしっかりと覆う。



①汚染面に触れないよう、 イヤーループ (ひもの部 分) を持って外す。



②汚染したマスク表面に触れないように廃棄 する。

③廃棄後に、手指衛生を行う。

インフルエンザが首都圏や北海 道内でも増加しています。ひと り一人が正しい予防策を実践 することが大切です。ワクチンの 接種も症状軽減には有効で す。マスクだけではなく、手洗 い・手指消毒も大切です。体 調の悪いときは無理せず休む。 職員の方は今一度、院内感 染対策マニュアルを確認して 下さい。

自分は大丈夫?

こんない人いるかも?! マスクの間違った使用例



●鼻出し族(使用時)

鼻を出してサージカルマスク をしている。



●腕章族(使用後)

1度使用したサージ カルマスクを再使用 するため、腕に付け ている。



●顎マスク

鼻・口を覆わず、顎にマスクをかけている。

マスクは正しく使用して しっかり予防しましょう。 マスクは単回使用です!



寒くなってきました。 体調管理もしっかり と!次回もまた読 んでくださいね!